

TOPICS

協議会設立 20 周年記念シンポジウム

ごあいさつ

ふるさとの川・荒川づくり協議会 会長 齋藤 忠雄



当協議会は平成八年、建設省が「ふるさとの川整備事業」を新たに実施することになり、この荒川が「ふるさとの川整備河川」の第一号に指定されたことに始まります。

その後、荒川における整備計画が策定され、その計画を実施するために平成十年三月に「ふるさとの川・荒川づくり協議会」が発足いたしました。そしてこれまで以上に市民に愛される「荒川」をめざして、いろいろな活動や事業

を官民一体となって行ってまいりました。自然観察会や歴史探訪会、子供たちを対象にした水生生物調査や動植物観察などは、荒川に足を運んでもらうためのきっかけ作りでもありました。

荒川は、国土交通省が行う水質調査で、七年連続日本一に輝く清流です。当協議会はきれいな川を維持するため、流域の事業所、地域団体、町内会の方々に呼びかけ、荒川クリーンアップ大作戦と称した清掃活動を行っております。このような清掃活動は徐々に広がりを見せ、今では多くの方が荒川をきれいにする活動をされています。本当に感謝申し上げます。これからも引き継ぎ、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。



ハネリスト福島市長 木幡 浩様

平成29年度主催・共催事業報告

河川協力団体事業

第17 回全国河川愛護団体交流会・山口大会参加
11月11日(土)・12日(日)

交流会は岩国市錦町「錦パレス」を会場に開催されました。
基調講演のあと「荒川づくり協議会」も事例発表、懇親会に参加。
翌日は、錦川の支流「宇佐川」に生息する「オオサンショウウオ」と建設途上の「平瀬ダム」そして岩国市のシンボル

「錦帯橋」も見学出来ました。
村岡山口県知事の激励を受け、改めて地域交流の大切さを実感した大会になりました。
おもてなしの心に感謝して帰路に着きました。



あらかわ自然楽校

荒川流域の歴史探訪 6月10日(土)

探訪会のテーマは「荒川流域の歴史探訪」で、第一回の講師は柴田俊彰先生、座学では現在までに発掘調査されている荒川流域の遺跡(縄文時代～平安時代)が、配布資料とパワーポイントで紹介されました。この中には、自宅のすぐ近くにある福島市内では最古の古墳であるという「稲荷塚古墳」と八幡塚古墳も含まれておりました。

秋には縄文時代の遺跡に詳しい方に、座学でお話のあった「愛宕原遺跡」と「大平・後関遺跡」の現地を案内して頂き、両方とも

に山と川に近い生活に便利な場所であることを確認でき、宮畑遺跡同様に、縄文の人々が生活していたということが納得できました。

フィールドワークでは、「旧寛家宿店」、「水天宮の碑」、「室石」、「鎌合内前の板碑」、「菅原神社と溝口大明神・板碑」を説明して頂きました。

今回の勉強会を通じて、荒川の流域には多くの遺跡や史跡があることを改めて認識し、これらをうまく組み合わせれば、フィールドワークの良いコースができると感じました。

荒川クリーンアップ大作戦

5月27日(土)・10月14日(土)

5月27日(土)と10月14日(土)の両日、午前7時から荒川沿線6カ所にそれぞれ集合し、荒川クリーンアップ大作戦を開催いたしました。今年も多くの会員や地元の方々に参加していただきましたことに感謝申し上げます。

7年連続水質日本一もこのような活動の積み上げから達成できたものと思います。今後も続けてまいりますのでご協力をお願いいたします。



荒川にサケの稚魚放流

1月24日(土)

平成30年1月24日(水)荒川仁井田橋下流でサケの稚魚2000尾を放流しました。これは阿武隈川漁業協同組合のご協力で実施しているものです。会員や地元住民約50名が参加し、心を込めて放流していました。
この稚魚は荒川を約4km下り、阿武隈川を約77km下って太平洋を北上し、ベーリング海を回遊して4年後にまた荒川に遡上してくれるものと思います。



外来植物調査と河川パトロール

昨年同様、八木田橋～信夫橋間の外来種(アレチウリ、セイタカアワダチソウ)の分布調査と小富士橋～信夫橋間の河川パトロールを実施しました。

アレチウリは非常に成長が早く、同じつる性のクズを押しのけているようです。しかし、寒さには弱く、霜が降りると直ぐに凍みて枯れてしまうので、その後はクズが目立つようになります。セイタカアワダチソウは、小さいうちは分かりづらいですが、黄色い花をつけるころになると遠くからでも発見することができます。

今年で3年目ですが、両種とも、分布に変化はないようです。河川パトロールは月に1回右岸左岸を交互に行っています。



視察交流研修会

第一回(中央道・松川遊砂地・栗本堰)
6月20日(火)

思いもかけずバス2台という研修会に…。さすが「中央道」期待の大きさに脱帽です。「東北一長いトンネル・8972m」もしもの為に備えた万全の設備の数々。日頃、目にするものの出来ない光景にただ驚きの連続でした。



午後からは、松川遊砂地・井野目堰・栗本堰などを見学。水争いから生まれた「円筒分水」から先人の知恵を学ぶことが出来ました。

第二回(阿賀川・川の達人の会)
9月12日(火)

「未来を担う子供たちに、川遊びを通して自然とふれあい、遊びと文化を伝えていく」しっかりした目的のもとに活動している姿が、子供たちにのイキイキした姿から見てとれ勉強になりました。

幼き頃、泳いで遊んだ「荒川」に思いを馳せ、神指城跡、土津神社を見学して帰路に着きました。



NEWS

ふるさとの川荒川 水質日本一7年連続

ふるさとの川荒川が、2016(平成28)年の水質調査の結果、7年連続で水質日本一に輝きました。これは東北では唯一、また、全国でも3河川しかない快挙でした。当会では定期的な河川パトロールなど、河川環境の保全に努めております。水質日本一は多くの皆様方と共に活動してきた成果の表れと感謝しております。

助成金に感謝

今年度、次の5団体様より活動助成金をいただきました。森林教育学習の備品購入、広報誌発行、環境保全活動に有効に使わせていただきます。会員一同感謝し御礼申し上げます。ありがとうございました。

- ◆(一財)福島県林業会館フォレスト助成事業(協賛)
- ◆福島信用金庫助成事業
- ◆ふくぎんみんなのサポート市民活動助成事業
- ◆西ライオンズクラブ
- ◆(一社)東北地域づくり協会